



## 表紙の人

# すもも 坂本 李さん

武雄中学校3年生  
拳栄会館武雄支部 所属

昨年、今年と2年連続で「全日本少年少女空手道選手権大会」に出場を果たした

5月11日、午後7時。御船が丘小学校の体育館を訪ねると、「気合い入れろー!」

声の主は、坂本李さん。次々に指示を出し、稽古を引っ張る様子はこの道場の師範代といった感じだ。現在の拳栄会館武雄支部は、幼稚園児から大人まで50人近くが所属する大所帯だが、その中にあって、坂本さんの切れのある突きや蹴りの動作はひととき目を引いた。

### 猛練習でハングを克服

「試合で技が決まって勝つと、気持ち良くてやめられないですね」という坂本さん。強気で攻めるスタイルを身上とするが、それだけに負けた時は悔しさも人一倍で、すぐまた戦いたくなるそう。結局、勝つても負けても空手からは離れられませんが「話す笑顔が爽やかだ。」

実は、坂本さんは幼い頃、心臓が弱いため激しい運動ができなかった。母親の洋子さんによれば、それでも負けん気が強い子だったという。その後、治療が成功し、何か運動を始めたいと思った時に出会ったのが空手だった。小学3年生で空手を始めると、たちまちその面白さに夢中になり、どんどん技をマスターしていったという。

身長150cmに満たない坂本さんは、同年代の選手と比べると小柄な方だ。

上背のある選手と対戦すると、上段蹴りの届く範囲が限られ、不利な面もある。しかし、坂本さんは技のスピードと駆け引きに磨きをかけ、小柄なハングを乗り越えてきた。

### 全国の厚い壁に挑む

九州大会を圧倒的な強さで制し、2年連続で全

国大会に駒を進めた坂本さんだが、結果は初戦敗退。減量に苦しみ、実力が出せずに敗れた昨年の教訓から、今年は階級を重量級に上げて臨んだが、初戦から圧倒的な体格差のある相手と当たると不運もあった。坂本さんの体重は48kg前後で、これはちょうど軽量級と重量級の境目に位置する。成長期にさしかかり、体重の管理が難しいことも、苦戦の二因のよう。ただ、坂本さん自身は、「実力の差です。やはり全国大会は強い選手が多くて、自分はまだまだです」という。その中で、いつか優勝し頂点に立ちたい、と力強く話すすぐな瞳が印象的だった。



▲得意技はミドルキック。今後は守勢に回った時の粘り強さも身につけたいという。



▲ちびっ子拳士たちの良きお姉さん役も務める

【有料広告】

**デイサービス利用者様 募集中!**  
介護を必要とされる方、介護にお困りの方、お気軽にご相談ください。

笑顔で送迎致します! 真心いっぱいの手料理! 楽しい仲間! プロのマッサージ!

スタッフ一同、心よりお待ちしております。

武雄市西川登町小田志16865 介護福祉ステーション **森の音**

担当: 中村 0954-28-2336